

Kurashiki Academic Winds

19th Regular Concert

February 20, 2011 14:00

倉敷市民会館

Message & Profile ■

本日はご多忙中にもかかわらず、倉敷アカデミックウインズ第19回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私たちは「地域の方々に生の演奏を聴いていただき、吹奏楽の普及に貢献する」という方針で演奏活動を行っております。昨年度の夏に初めて開催し、ご好評をいただいた「こどもわくわくコンサート」も、今年度は12月に開催させていただきました。今回も多数の未就学児と保護者の皆様のご来場を賜り、楽しいコンサートになりました。

また、私たちは「音楽面での技術向上」にも、日々の練習を通して励んでおります。今年度の夏には吹奏楽コンクールに再び参加させていただきました。演奏技術はまだまだ未熟ではありますが、本日も精一杯の演奏をお届けしたいと思っております。どうぞ最後まで、ゆっくりとお楽しみください。

なお、この演奏会の開催にあたり、団員のご家族、職場の皆様には格段のご配慮をいただき、ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

今後とも、皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

倉敷アカデミックウインズ 団長 常國 真吾



本日は、倉敷アカデミックウインズの演奏会にお越しくださり、ありがとうございます。おかげさまで、19回目の定期演奏会を迎えることができました。今回は出井紗希子さんをゲストにお迎えして、コンチェルトを演奏させていただきます。一緒に演奏できることを大変うれしく思います。

また、開場後の「チャリティコンサート」やアンケートにも毎年ご協力いただき、ありがとうございます。私たちにとっても、皆様と身近な距離で演奏できることが、この演奏会の楽しみの一つとなっています。

私たちは、職場の方や家族の理解のもとで、練習に励むことができます。いつも笑顔で練習に送り出していただきまして、大変感謝しております。

最後になりましたが、本演奏会に際し、多くのスタッフのみなさんにご協力をいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

第19回定期演奏会 実行委員長 世戸 裕子

山崎良続／指揮

倉敷青陵高等学校、島根大学教育学部特別教科（音楽）教員養成課程管弦打楽器（ホルン）専攻卒。ホルンを田中昭、新田厚の両氏に師事。編曲法を河添達也氏に師事し、在学中よりブラスアンサンブル・木管アンサンブル・吹奏楽・管弦楽等の編曲活動を行っている。現在、岡山市立京山中学校教諭。



光畑圭子／司会進行

大阪府茨木市出身。岡山芳泉高等学校、就実女子大学英米文学科卒。「リビングおかやま」編集部記者からOHKテレビレポーターに転身。同時に、各種司会、テレビ・ラジオのCMなどナレーター活動も開始。英会話イーオンアミティのCD・PC教材は、日本語ナレーションをすべて担当。その後、FM岡山DJ等を経て、近年ではルネスホール初の結婚式披露宴の司会兼プロデュース、県立高校社会人講師として講演、話し方講座などを行い、フリーアナウンサー、司会者として幅広く活躍中。倉敷アカデミックウインズ定期演奏会の司会は、2001年から今年で連続11回目。ますますの充実ぶりが期待される。



第1部

音楽祭のプレリュード
A Festival Prelude

アルフレッド・リード
ALFRED REED

カンタベリー コラール
CANTERBURY CHORALE

ヤン・ヴァン・デル・ロースト
Jan Van der Roost

カウボーイ
THE COWBOYS

ジョン・ウィリアムズ
JOHN WILLIAMS

第2部

マリンバ小協奏曲 作品21
Concertino for Marimba and Band

ポール・クレストン
Paul Creston

第3部

～ベストヒット 2010～

龍馬伝

佐藤直紀 / 杉本幸一
Naoki Satoh / Koichi Sugimoto

宇宙戦艦ヤマト

宮川 泰 / 金山 徹
Hiroshi Miyagawa / Tohru Kanayama

ありがとう

水野良樹 / 濱崎大吾
Yoshiki Mizuno / Daigo Hamasaki

ロコモーション
The Loco-motion

ジェリー・ゴフィン&キャロル・キング / 三浦秀秋
Gerry Goffin & Carole King / Hideaki Miura

「海猿」 ハイライト
"UMIZARU EVOLUTION" Highlights

佐藤直紀・松本孝弘 / 渡部哲哉
Naoki Satoh & Takahiro Matsumoto / Tetsuya Watanabe

音楽祭のプレリュード

アルフレッド・リード 作曲

邦題で『音楽祭のプレリュード』というこの作品は、オクラホマ州エニッドで毎年開催されている音楽祭「トライ・ステート・ミュージック・フェスティバル」の25周年を記念して1957年に作曲され、作曲家自身の指揮でフィリップス大学のコンサートバンドにより初演されました。

トランペットとトロンボーンを中心とする輝かしいファンファーレにより開始され、それに続いて、木管を中心としたふくよかな旋律の主部が提示されます。中間部で、少しゆっくりした主部のテーマが少し形を変えて現れ、再び速くなって、最後にファンファーレの主題も現れて力強く終わります。リードの魅力が凝縮されている人気の高い作品で、1975年の全日本吹奏楽コンクールの課題曲にも選ばれました。

作曲者のアルフレッド・リード（1921-2005）は、吹奏楽において20世紀を代表する音楽家の1人とされ、200曲以上の吹奏楽作品を残しています。親日家でもあり、1981年に東京佼成ウインドオーケストラの招きによる初来日以来、数多く日本を訪れています。2005年に惜しまれつつこの世を去りました。

カウボーイ

ジョン・ウィリアムズ 作曲

この曲は1971年の映画『11人のカウボーイ』のテーマ音楽です。映画音楽として作曲されましたが、このまま演奏会用としても十分楽しめる曲です。

ホルンとトランペットのファンファーレと、それに続く合奏による短い序奏のあと、軽快な主部に入ります。少年たちが暴れ馬のロデオに挑戦する場面で演奏されたこの第1テーマは、全曲を通じてメインテーマの一つとしてしばしば現われます。気まぐれで快活な、ジョン・ウィリアムズらしいユーモアにあふれています。対旋律として流れるメロディは、第2テーマの変形です。第3テーマはやはり軽快なメロディですが、第1テーマより気まぐれな要素は少なめです。

中間部は新しい第4のテーマが現われます。美しいメロディは早朝のシーンや壮大な荒野のシーン、宵闇に包まれるシーン、勇壮で荘厳なシーンなどで様々使われていますが、その度に違った印象を与えるのは、見事なアレンジとしか言いようがありません。

後半は再び速度を速めて、前半とほぼ同じ構成で進みますが、アレンジは徐々に変わっていき、曲を盛り上げます。すべてのテーマが顔を出し、中間部のテーマが再び現れると、曲は最高潮に達します。一瞬の沈黙の後、映画のラストクレジットのように曲は流れ、速度を上げて一気に走ります。

作曲者のジョン・ウィリアムズといえば、スティーヴン・スピルバーグの映画作品がすぐに浮かびますが、この2人が“出会った”きっかけの作品がこの『11人のカウボーイ』です。以後、この2人は名コンビとなって、名作を放ち続けるのです。

マリンバ小協奏曲 作品21

ポール・クレストン 作曲

この曲はオーケストラ・クラシックの指揮者フレデリック・ペトリデスに委嘱され、1940年に完成しました。オーケストラとマリンバの協奏曲として作曲され、後に吹奏楽向けにも書き直されました。

作曲者のポール・クレストン（1906-1985）はカリフォルニア州サンディエゴに生まれました。家庭が貧しかったために、正規の音楽教育は受けられず、教会や映画館のオルガン奏者として働き、夜は睡魔に打ち勝つために、タバコのかわりにコーヒーをパイプに詰めて吸いながら、独学で作曲の勉強をしたというエピソードもあります。

26歳にして作曲家になることを決意しましたが、当初はそれほど評価されませんでした。その後ヘンリー・カウエルやアーロン・コーブランドから高く評価されるようになり、32歳にして、作曲家として第一歩を踏み出すことになりました。1956年に全米作曲家・指揮者協会の会長、1960年には全米著作権協会（ASCAP）の会長に選出されました。

■第1楽章 Vigorous

2つの主要なテーマに基づいています。一つは、強いリズムカルなテーマ、もう一つは叙情的なテーマです。どちらもバンドの導入で表れます。これらのテーマの展開は、パートソロの中で様々なリズムパターンとして表現されています。

■第2楽章 Calm

最初のテーマはフルートのソロで提示され、直ちに4本マレットによる和声でのマリンバのメインテーマに移ります。全体的な静けさが続きますが、中間部にむかい短調のクライマックスに展開していきます。

■第3楽章 Lively

8分の6拍子のスケルツォとフィナーレの組み合わせです。リズムカルな変化はこの楽章の特徴で、叙情的、劇的要素が散りばめられています。

ニューヨークタイムスは、この作品の初演を次のように評しています。

「マリンバはソロ楽器としてその楽器の限界があるが、作曲者のクレストンは制限の中でとてもよく書いている。その上彼はアイデアとイノベーションを持ち合わせている。」

GUEST

出井 紗希子 (いでいさきこ)

岡山県総社市出身。島根大学教育学部学校教育教員養成課程卒業。京都市立芸術大学大学院打楽器専攻修了。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学打楽器科修了。今までに多くの現代音楽コンサート、新人作曲家の世界初演に参加。「打楽器の魅力を生身に体感してもらいたい」との願いから、ドイツ、岡山を拠点に独自のコンサートを企画演奏している。2006年、総社市で初リサイタルを開催。2007年にはZKM10周年記念コンサート(ドイツ)で、W・リームら世界的現代作曲家作品の演奏に参加。2008年、「打楽器&オカリーナアンサンブルコンサート」を企画し、国内外の演奏家を招き岡山の寺院等にて公演。またドイツ・カールスルーエでの「メシアン生誕100周年記念コンサート」にソリストとして出演。2009年には、「おかやま国際音楽祭2009」にて「打楽器&バリトンリサイタル」を開催、多くの初演曲を披露。2010年にはドイツ・トリアーでの「ヴァヴェアン文化週間」にてリサイタルを開催し好評を博す。上中あさみ、山本毅、ヨルク・バイヤー、ユルゲン・ハインリッヒ、中村功の各氏に師事。ヴィットリッヒ市立音楽学校打楽器講師、中村功と仲間たち打楽器アンサンブルのメンバー。ドイツ在住。



Band Profile ■

倉敷アカデミックウインズは、1992年6月に発足した創立19年目のアマチュア一般吹奏楽団（市民サークル）です。所属メンバーは現在約60名で岡山県倉敷市を中心に、年1回の定期演奏会・吹奏楽コンクール・訪問演奏等の演奏活動を行っています。

もちろん、演奏活動以外にも各種同好会あり、飲み会あり…楽しい活動を通して、団員の親睦を深めています♪

主な活動

- ◇ 第18回 定期演奏会（2010.2.21 / 倉敷市民会館）
- ◇ 岡山県一般吹奏楽連盟バンドフェスティバル（2010.6.20/岡山市民文化ホール）
- ◇ 合 宿（2010.7.3-4 / 倉敷市少年自然の家）
- ◇ 第51回岡山県吹奏楽コンクール（2010.8.8 / 倉敷市民会館）
- ◇ ふれあいコンサート（2010.10.23 / 倉敷市少年自然の家）
- ◇ 団内アンサンブル大会（2010.11.14 / 文化交流会館）
- ◇ こどもわくわくコンサート（2010.12.26 / 水島公民館）



吹奏楽コンクール



合 宿



こどもわくわくコンサート



団内アンサンブル大会

エピソード

Members List ■

Cond.	山崎 良続	Fg.	八木 好恵	Euph.	坂本 幸洋 佐藤 裕史 世戸 裕子
Picc.	喜多野智子	Tp.	唐井 靖恵 栗原 修一 多田 文彦 中山 幸治 成山 恵子 原田 宗範	Tuba.	浅野 尚行 小田 晃弘 朽木 陽一
Fl.	大元 幸恵 亀山美奈子 塩津 恵 長島 陽子 南 恵梨 横内 理絵	Hr.	今若 康久 小宮留衣子 重松真由美 高谷麻里子 常國 真吾 中島 繭 林 智志 ☆ 今岡 祐二	Perc.	大西 智子 亀井 幸恵 日下 朋美 小橋由布子 立住 睦海 林 マキ 火口ひとみ 渡辺 麻野
Cl.	安宅 忠司 石田 純子 植野 佑梨 大野 晶子 関 文彰 橘 侑里 三宅 宏美 横山 弓子	Tb.	岡本 国芳 河合 裕希 小原 則行 小牧 崇宏 三木 剛		
Sax.	門野 敏之 刈田 朋子 野田 潤一 畑本 麻美 溝手 陽子 山本祐規子				

☆ 賛助出演

Staff

実行委員長	世戸 裕子	実行委員	三木 剛	照明	オールライツ
実行委員	喜多野智子		坂本 幸洋	印刷	ササベ印刷株式会社
	石田 純子		渡辺 麻野		
	山本祐規子		山崎 良続		
	唐井 靖恵		朽木 陽一		
	高谷麻里子				

倉敷アカデミックウインズでは新しい仲間を募集中です。
吹奏楽の経験がある方！一緒に音楽を楽しみましょう♪
まずは、一度私たちの練習に遊びに来てください。

Official WEB <http://www.kaw.ne.jp/>

E-Mail : kaw@kaw.ne.jp